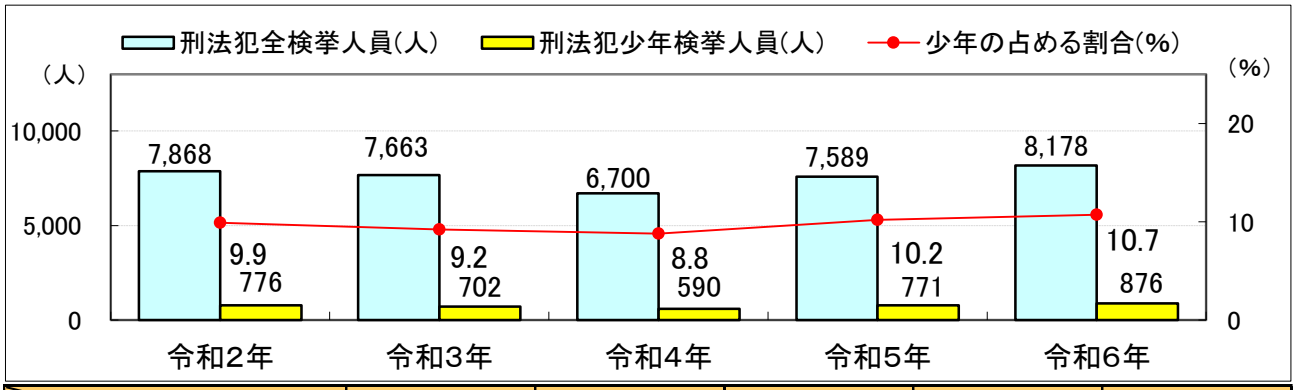
刑法犯少年の検挙状況

《刑法犯少年検挙人員の推移》



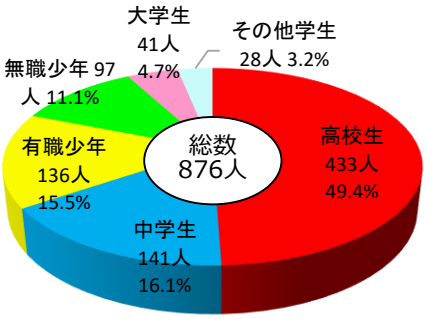
区分＼年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	**令和6年**
刑法犯全検挙人員(人)	7,868	7,663	6,700	7,589	**8,178**
刑法犯少年検挙人員(人)	776	702	590	771	**876**
刑法犯全検挙人員に占める少年の割合(%)	9.9	9.2	8.8	10.2	**10.7**
少年人口比(千葉県)	2.3	2.1	1.8	2.3	**2.6**
少年人口比(全　国)	2.6	2.2	2.3	2.9	**3.3**

※　少年人口比とは、少年（１４歳以上２０歳未満）人口１，０００人当たりの刑法犯少年検挙人員をいう。

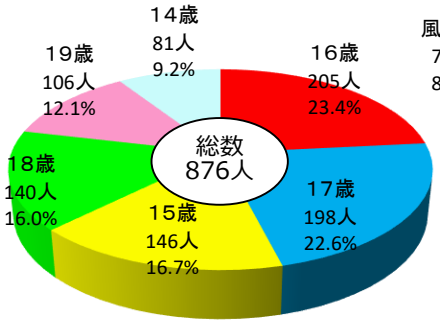
◆　刑法犯少年検挙人員が増加

千葉県の刑法犯で検挙された少年は、令和6年は876人（前年比+105人）であり、令和5年から2年連続で増加しています。

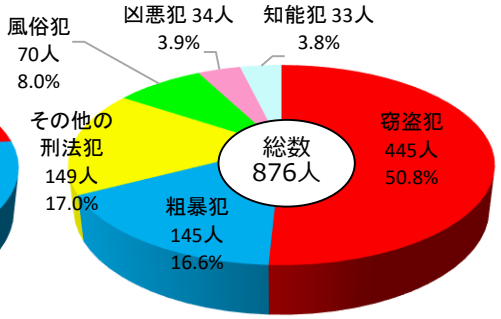
《学職別状況》



《年齢別状況》



《包括罪種別状況》



※　包括罪種とは、刑法犯の罪種を凶悪犯（殺人、強盗、放火、不同意性交等）、粗暴犯（凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝）、窃盗犯、知能犯（詐欺、横領等）、風俗犯（賭博、わいせつ）及びその他の刑法犯（占有離脱物横領、住居侵入、器物損壊等）の６つに大別したものをいう。

※　占有離脱物横領とは、占有者が遺失し、または盗難の被害を受け、その後放置されたものを横領することをいう。

※　統計図表中の構成比等は、四捨五入してあるため総計が必ずしも１００パーセントにならない場合がある（以下の統計図表も同様である。）。

◆　高校生が全体の約5割

学職別では、高校生が433人と最も多く、全体の約5割を占めています。

◆　窃盗犯が全体の約5割

包括罪種別では、窃盗犯が全体の約5割を占める445人（前年比-12人）で、主なものは、万引きが217人（同-3人）、自転車盗が96人（同-7人）、オートバイ盗が50人（同+2人）です。